

令和 5 年 9 月 18 日開催

令和 5 年度第 1 回上越市博物館協議会資料 (歴史博物館)

- | | | |
|---------------------|----------|---------|
| (1) 令和 4 年度事業実施状況 | ・・・・・・・・ | 1～ 9 頁 |
| (2) 令和 6 年度事業計画 (案) | ・・・・・・・・ | 10～11 頁 |

上越市立歴史博物館 令和4年度事業実施状況

1 展覧会事業

展覧会名	会期	内容	入館者数(うち展覧会観覧者数)
《逸品展示》 御所参内・聚楽第 行幸図屏風	3月26日(土) ～ 6月12日(日) (R3・6日間+ R4・66日間) ※観桜会・GW期 間無休	天正16年(1588)、天下人となった豊臣秀吉は聚楽第に後陽成天皇を迎えるため御所に参内した。この様子を描いた「御所参内・聚楽第行幸図屏風」を3年ぶりに公開した。	目標：29,000人 入館者数(R4のみ)： 25,820人 (4,314人) 満足度：100%
《企画展Ⅰ》 森成麟造 一上越考古学の先 覚者一	7月2日(土) ～ 8月28日(日) (55日間) ※観蓮会期間無休	<small>もりなりりんぞう</small> 森成麟造は、明治17年(1884)に現在の上越市安塚区真萩平に生まれた。明治44年(1911)に高田で開院し、医業の傍らで遺跡調査・資料収集に取り組み、上越地域の考古学研究に業績を残した。夏目漱石の主治医としても知られており、文化活動にも熱心であった。 本展では、森成麟造の生涯と上越の考古学研究における業績を森成家所蔵資料及び当館所蔵の森成コレクションを中心に紹介した。	目標：13,200人 入館者数： 12,673人 (3,024人) 満足度：88.9%
《企画展Ⅱ》 文化財指定記念 日本スキーの黎明	9月17日(土) ～ 12月4日(日) (66日間)	上越市では、スキー用具やスキー製作の道具、文献など、日本スキー黎明期における資料群を所蔵している。 本展では、令和3年度に市文化財に指定された「日本スキー関係資料」を中心に、日本スキーのはじまりから、スキー産業化・スキーの全国的普及という黎明期のスキー界をけん引してきた上越地域の役割を紹介した。	目標：12,000人 入館者数： 10,957人 (2,709人) 満足度：100%
《企画展Ⅲ》 探検！むかしのく らし	令和5年 1月4日(水) ～ 3月12日(日) (57日間)	小学3年生の社会科単元「かわる道具とくらし」に対応した民具展示。大正から昭和時代のくらしの様子を豊富な民俗資料と上越市内の写真で紹介した。	目標：8,500人 入館者数： 7,094人 (2,903人) 満足度：100%
《逸品展示》 どうする康政 榊原資料展	3月25日(土) ～ 6月18日(日) (R4・6日間)	NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせて、榊原康政の生涯を紹介した。 (観桜会前倒しに伴い、会期を前倒しして開催)	入館者数： 3,479人 (339人) 満足度：100%

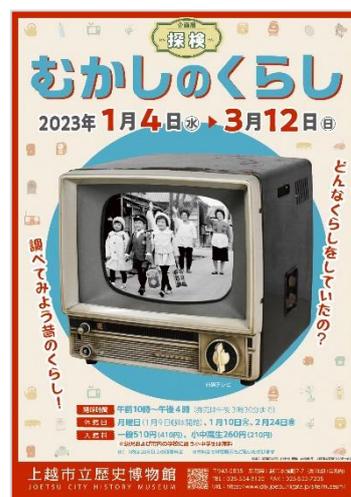
常設展のみ	(61 日間)	常設展示「越後の都」の展示替えを年 4 回実施した。	目標：7,300 人 入館者数： 6,888 人 (1,344 人) 満足度：93.8%
<ul style="list-style-type: none"> ・開館日数：311 日（観桜会延長に伴い令和 4 年 4 月 11 日を臨時開館、常設展プロジェクター入替え作業のため令和 5 年 1 月 6 日を臨時休館） ・目標入館者数は 70,000 人（企画展開催期間：62,700 人、常設展のみの期間：7,300 人）。 ・目標満足度を 80%とする。（満足度は「満足」「やや満足」「やや不満足」「不満足」の項目から「満足」「やや満足」と回答した人の割合） 			



令和 4 年度
企画展「森成麟造」チラシ



令和 4 年度
企画展「スキーの黎明」チラシ



令和 4 年度
企画展「むかしの暮らし」チラシ

2 教育普及事業

(1) 展示解説会

展覧会名	内容
《企画展Ⅰ》 森成麟造—上越考古学の先覚者—	日 時：令和 4 年 7 月 23 日（土）、8 月 7 日（日） 時間はいずれも 11:00～12:00 参加費：無料（ただし、観覧料が必要） 参加者数：延べ 31 人
《企画展Ⅱ》 文化財指定記念 日本スキーの黎明	日 時：令和 4 年 10 月 8 日（土）、11 月 20 日（日） 時間はいずれも 11:00～12:00 参加費：無料（ただし、観覧料が必要） 参加者数：延べ 20 人
《企画展Ⅲ》 探検！むかしの暮らし	小学校数：46 校（このうち市内 39 校） 児 童 数：1,604 人（このうち市内 1,407 人）

※土日祝日と観桜会・ゴールデンウィーク期間中は、常設展示室に展示解説員を配置し、随時解説対応を行った。

(2) 視察・団体の見学対応

視察・団体の申込みの際に展示解説の依頼があった場合、随時対応を行った。

(新型コロナウイルス感染防止のため、解説対応は県内団体に限定して実施した)

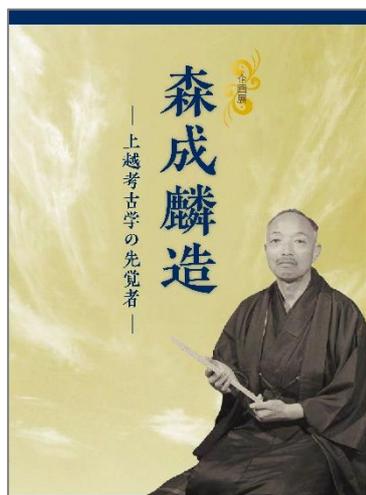
・対応人数：22件 549人

(3) イベント

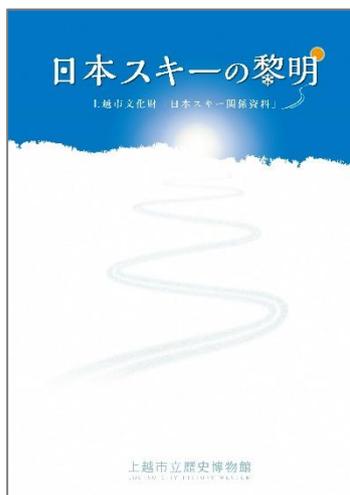
イベント名	内 容
岡沢拠点収蔵施設公開	内 容：国重要有形民俗文化財の「どぶね」のほか約3万点の民俗資料を収蔵する岡沢拠点収蔵施設の一般公開を行った。 日 時：令和4年5月4日（水・祝）、8月13日（土）、8月14日（日） 時間はいずれも10:00～16:00 参加費：無料 入館者数：延べ162人
「国際博物館の日」記念事業に伴う施設無料開放	内 容：ICOM（国際博物館会議）の「国際博物館の日」記念事業に協力するため、高田城址公園内の歴史博物館・高田城三重櫓を無料開放した。 日 時：令和4年5月18日（水） 9:00～17:00 入館者数：308人 ※高田城三重櫓は249人
教育コラボ 2022 学び愛フェスタ 関連イベント「子ども向け展示解説会 日本スキーのはじまりと上越」	内 容：学び愛フェスタ関連イベントとして、企画展「日本スキーの黎明」の子ども向け展示解説会を実施した。 日 時：令和4年11月19日（土） 11:00～12:00 対 象：小中学生とその保護者 参加費：無料 参加者数：7人
教育コラボ 2022 学び愛フェスタに伴う施設無料開放	内 容：学び愛フェスタの開催にあわせて、歴史博物館と所管する高田城三重櫓、日本スキー発祥記念館において市内小中学生と同伴の保護者1名の入館料を無料とした。 日 時：令和4年11月19日（土） 9:00～17:00 入館者数：16人（内訳：幼児1人、小学生8人、一般7人） ※高田城三重櫓は25人、日本スキー発祥記念館は0人

(4) 刊行物

刊行物名	内 容
企画展パンフレット『企画展 森成麟 造—上越考古学の先覚者—』	企画展パンフレットとして作成。 (規格：A4判24頁、印刷部数：1,000部、頒布価格：400円)
資料目録『日本スキーの黎明 上越市文化財「日本スキー関係資料」』	令和3年度に黎明期の日本スキー資料297点が上越市文化財に指定された。この資料群を中心に、スキー資料の評価・価値を発信するための研究論文を収録した目録を作成。 (規格：A4判64頁(カラー24頁/モノクロ40頁)、印刷部数：1,000部、頒布価格：600円)
小学生用ワークシート『探検！むかしのくらし 探検ブック』	小学3年生の社会科学習にあわせたワークシートを作成し、来館する小学生3年生に無償配布した。 (規格：A4判8頁、印刷部数：2,500部)
『上越市立歴史博物館 年報・紀要 第3号』 ※歴史博物館ホームページ上でデジタル版を公開	掲載内容： (1) 年報 Ⅰ 博物館の運営 Ⅱ 令和3年度(2021)事業報告 Ⅲ 条例等 Ⅳ 職員一覧 (2) 紀要 森成麟造と上越考古学会(今井晃主任執筆)



企画展パンフレット『森成麟造』



資料目録『日本スキーの黎明』



小学生用ワークシート『探検！むかしのくらし』

(5) 博物館実習

博物館実習は小林古径記念美術館と共同で実施した。

実習期間	実習生の所属大学	内 容
令和4年8月2日(火) ～8月6日(土) [5日間30時間]	中央大学文学部人文 社会学科 ※申込者1名	講義：「資料の保存管理」「地方博物館の現状」など 実習：「資料の取扱い」「資料の整理」「資料台帳作成について」など ※受講条件は、市内出身者もしくは市内の大学に通う博物館学芸員を志望する学生

(6) 出前講座・職員派遣

講座名	内 容
【出前講座】 上越市教育委員会社会教育課主催 謙信 KIDS プロジェクト「城と武将」	期日：令和4年6月4日(土)、6月25日(土)、 7月23日(土) 内容：春日山城、福島城、高田城について 会場：埋蔵文化財センター、春日山城、福島城資 料館、歴史博物館、高田城址公園 参加者数：延べ54人
【出前講座】 新潟県社会科教育研究会主催 春季研究大会	期日：令和4年6月12日(日) 演題：上越考古学の先覚者 森成麟造 会場：歴史博物館 参加者数：50人
【出前講座】 直江津ロータリークラブ主催 講演会	期日：令和4年6月12日(日) 演題：上越近代史のあらまし 会場：ホテルセンチュリーイカヤ 参加者数：50人
【職員派遣】 新潟県社会福祉協議会主催 シニアカレッジ新潟 基礎応用過程2年次	期日：令和4年6月14日(火) 演題：新潟県の歴史(上越編) 会場：高陽荘 参加者数：26人
【出前講座】 上越市社会教育課 高田地区公民館事業 今一度、知りたい！知ろう！私たちの郷土	期日：令和4年6月20日(月)10月31日(月)、 11月7日(月) 内容：城下町高田の歴史・成り立ちについて 会場：オーレンプラザ、日本スキー発祥記念館ほか 参加者数：延べ68人
【出前講座】 上越市社会教育課 頸城区公民館事業	期日：令和4年6月20日(月) 内容：歴史博物館と企画展「森成麟造展」見学 会場：歴史博物館 参加者数：18人

講座名	内 容
<p>【出前講座】 五智歴史の里主催 文化講演会</p>	<p>期日：令和4年7月16日（土） 演題：森成麟造—上越考古学の先覚者— 会場：五智歴史の里 参加者数：56人</p>
<p>【出前講座】 上越観光コンベンション協会主催 上越観光ボランティア養成講座</p>	<p>期日：令和4年8月1日（月） 内容：常設展「越後の都」見学 会場：歴史博物館 参加者数：13人</p>
<p>【出前講座】 新潟日報カルチャースクール</p>	<p>期日：令和4年8月8日（火） 内容：企画展「森成麟造展」見学 会場：歴史博物館 参加者数：10人</p>
<p>【出前講座】 上越市社会教育課 吉川区公民館事業</p>	<p>期日：令和4年8月18日（木） 演題：峠の時代を振り返る（座学編） 会場：吉川区公民館 参加者数：15人</p>
<p>【出前講座】 上越市社会教育課 柿崎区公民館事業</p>	<p>期日：令和4年8月25日（木） 内容：企画展「森成麟造展」見学 会場：歴史博物館 参加者数：19人</p>
<p>【出前講座】 新潟県観光文化スポーツ部文化課主催 オンライン講演会「考古学なんかやって何になるの？—発掘だけじゃない、文化財調査員のシゴト—」</p>	<p>期日：令和4年8月27日（土） 演題：博物館での仕事 ※Zoomを利用したオンライン開催</p>
<p>【出前講座】 浦川原中学校 第1学年「上越いいところ探し」</p>	<p>期日：令和4年8月30日（火） 会場：歴史博物館・高田城三重櫓 参加者数：16人</p>
<p>【出前講座】 上越華道会主催講演会</p>	<p>期日：令和4年10月2日（日） 演題：「越後の都」と徳川の城 会場：リージョンプラザ上越 参加者数：100人</p>
<p>【出前講座】 上越市社会教育課 吉川区公民館事業</p>	<p>期日：令和4年10月13日（木） 演題：北越戊辰戦争と河井継之助 会場：吉川区公民館 参加者数：15人</p>

講座名	内 容
【職員派遣】 新潟大学非常勤講師	期日：令和4年10月26日（水）、11月2日（水）、 11月9日（水） 演題：近世越後諸地域の歴史と社会 会場：新潟大学 参加者：延べ360人
【出前講座】 「高田城址公園」を要望する会主催 高田城址公園2周年フォーラム	期日：令和4年10月29日（土） 演題：高田藩・下級武士の生活 会場：高田城址公園オーレンプラザ 参加者数：200人
【職員派遣】 長岡郷土史研究会主催講演会	期日：令和4年10月30日（日） 演題：高田藩と戊辰戦争 会場：長岡市立中央図書館 参加者数：70人
【出前講座】 （公財）旧高田藩和親会主催 第13回郷土史フォーラム	期日：令和4年11月3日（木・祝） 演題：江戸時代、町人の暮らし 会場：高陽荘 参加者数：50人
【出前講座】 五智歴史の里主催 文化講演会	期日：令和4年11月12日（土） 演題：日本スキーの黎明―歴史資源としての「日 本スキー関係資料」― 会場：五智歴史の里 参加者数：30人
【出前講座】 上越市社会教育課 金谷地区公民館事業	期日：令和4年11月22日（火）、11月29日（火） 演題：日本スキーのはじまりをふりかえる 会場：金谷地区公民館 参加者数：延べ28人
【出前講座】 上越市立東本町小学校 社会科学習	期日：令和4年11月24日（木） 演題：高田に伝わる文化 観桜会・スキー 会場：上越市立東本町小学校 参加者数：61人
【出前講座】 謙信公義の心の会主催 定例会	期日：令和5年2月25日（土） 演題：どうする高田榊原 会場：市民プラザ 参加者数：20人

(7) 人権・同和問題研修会

常設展示「越後の都」を会場として、上越市教育委員会学校教育課主催による小中学校および教育委員会職員対象（学校管理職、人権教育担当教諭、市教育委員会職員、上越教育事務所職員）の人権・同和問題研修会を行った。

- ・期日：令和4年5月6日（金）、5月12日（木）、5月17日（火）の3日間
- ・人数：延べ75人

その他、県立高田商業高等学校の依頼により、同校教職員の人権・同和問題研修会を行った。

- ・期日：令和4年8月24日（水）
- ・人数：14人

3 調査研究事業

(1) 民俗資料整理作業

- ・平成29年度以降の新規受入れ資料のクリーニング・台帳整備を行った。
- ・資料の適正管理のため、岡沢拠点収蔵施設の清掃作業を定期的実施した。

(2) 歴史・民俗資料収集

- ・購入数：9件25点（歴史資料6件12点、参考図書3件13冊）
- ・寄贈数：49件1,420点（歴史資料18件793点、民俗資料30件627点）

(3) 調査研究事業

- ・令和4年度企画展「森成麟造—上越考古学の先覚者—」開催にかかる調査
- ・令和4年度企画展「日本スキーの黎明」開催にかかる調査
- ・日本スキー発祥記念館の収蔵資料調査・整理

4 入館者数

【令和4年度 上期（4月～9月）】

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	下半期計
開館日数	28日	27日	26日	29日	29日	26日	165日
総入館者数	17,176	6,747	4,072	6,362	6,741	4,281	45,379
展示観覧者数	1,921	1,973	925	1,441	1,683	1,028	8,971
有料観覧	1,693	1,520	703	1,257	1,465	861	7,499
無料観覧	228	453	222	184	218	167	1,472
無料ゾーン利用者数	15,255	4,774	3,147	4,921	5,058	3,253	36,408

【令和4年度 下期（10月～3月）】

（単位：人）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	年間合計
開館日数	26日	24日	24日	23日	23日	26日	146日	311日
総入館者数	4,531	3,753	1,540	2,418	2,965	6,325	21,532	66,911
展示観覧者数	1,070	894	230	962	1,417	1,089	5,662	14,633
有料観覧	927	573	175	340	457	915	3,387	10,886
無料観覧	143	321	55	622	960	174	2,275	3,747
無料ゾーン利用者数	3,461	2,859	1,310	1,456	1,548	5,236	15,870	52,278

【開館以来の入館者数の推移】

(単位：人)

	開館日数	総入館者数	展示観覧者数			無料ゾーン 利用者数
			有料	無料	合計	
平成30年度※1	215日	41,134	11,186	4,918	16,104	25,030
令和元年度	315日	82,741	12,682	4,316	17,088	65,743
令和2年度	278日	45,558	8,312	3,371	11,683	33,875
令和3年度	310日	61,175	12,555	3,759	16,314	44,861
令和4年度	311日	66,911	10,886	3,747	14,633	52,278

※1：平成30年度は7月21日からの入館者数

令和 5 年 9 月 18 日開催

令和 5 年度第 1 回上越市博物館協議会資料 (水族博物館)

(1) 令和 4 年度事業実施状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	1～11 頁
(2) 令和 6 年度事業計画 (案)	・・・・・・・・・・・・・・・・	12～14 頁

上越市立水族博物館 令和4年度事業実施状況

1 展示の状況

常設展示の展示替えや各種プログラムの実施などにより展示の充実を図るとともに、特別展及び企画展を開催し、施設の魅力や学習効果を高めた。

(1) 常設展示の状況

事業内容	期 間	内 容
イワシ給餌イベントの実施	通年	躍動感あふれるイワシの群れの動きを紹介するために、複雑な擬岩を備えるうみがたり大水槽の特徴をいかしたイワシの給餌イベント「舞鰭 Shinyllusion」を実施した。
マゼランペンギンの繁殖		高病原性鳥インフルエンザの防疫措置として全個体を屋内に収容したが、昨年の経験を踏まえた取組を行った結果、15羽の繁殖に成功した。
ドルフィンパフォーマンスの実施	4月6日(水)～ 11月6日(日)	季節ごとにテーマ(春期：躍動感、夏期：爽快感、秋期：一体感)を設定し、演示展示の内容を変更することで、バンドウイルカの有する様々な能力を紹介した。
ペンギンフィーディングの実施	4月15日(木)～ 10月20日(木)	新型コロナウイルス感染症対策として休止していたペンギンフィーディング(給餌体験)を4月15日から再開したが、その後、高病原性鳥インフルエンザ対策としてマゼランペンギンの展示を休止したことに伴い、10月21日からペンギンフィーディングを再度休止した。
マゼランペンギンの繁殖状況の紹介	6月25日(土)～ 7月15日(金)	マゼランペンギンの繁殖について、より詳しい情報を発信するため、新たな取組を実施した。 ・巣穴に設置したカメラによる育雛状況のライブ配信の実施 ・解説イベント「マゼランペンギンのヒナのおはなし～公開体重測定～」の実施(期間中の土日のみ)
展示構成の変更	7月27日(水)	展示の魅力向上を図るとともに、入館者の学習ニーズに応えるため、展示の再構成を実施した。 ・マングローブ林や干潟などをテーマとした展示の追加による、日本海と対馬暖流に関する展示の拡充 ・形態や生態など、生物の多様性をテーマとした展示の拡充

マゼランペンギンの展示 休止	10月21日(金)～ 翌年度5月6日 (土)	新潟市における高病原性鳥インフルエンザ発生、その後の全国的な同疾病発生を受け、防疫措置としてマゼランペンギンの展示を休止し、全個体を屋内に収容した。
水中ドルフィンパフォーマンス「Art of Dolphin」の実施	11月7日(月)～ 翌年度4月12日 (水)	屋外でのパフォーマンス実施が困難になる冬期の演習展示として、水中でのドルフィンパフォーマンスを実施した。

(2) 特別展・企画展の実施状況

事業内容	期 間	内 容
マンスリー水槽の設置	通年	学習機会の増加、話題創出を図るための企画として、月単位でテーマを設定し展示を更新するマンスリー水槽を設置し、情報発信を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・4月：観桜会（サクラダイ） ・5月：端午の節句（カブトガニ） ・6月：梅雨（クロサンショウウオ） ・7月：夏祭り（キンギョ） ・8月：森と海を行き来するカニ（アカテガニ） ・9月：敬老の日（ナマズ） ・10月：ハロウィン（ボロカサゴ） ・11月：落ち葉（リーフフィッシュ） ・12月：イルミネーション（オワンクラゲ） ・1月：干支「卯」（トビハゼ） ・2月：節分（オニカマス） ・3月：花束（キンギョハナダイ、ハナビラ、マノミなど）
特別展「もっと知って！うみがたりのゴマフアザラシ展」の開催	4月29日(金)～ 7月10日(日)	新規個体の飼育展示を開始し、繁殖も期待されているゴマフアザラシをテーマとし、生態や特徴、近縁種などについて紹介するパネル展示を実施した。
企画展「まるっとキュンです ダンゴウオとなかまたち」の開催	4月29日(金)～ 6月30日(木)	ダイバーなどに人気があり、水族博物館のマスコットフィッシュの候補でもあるダンゴウオ科魚類をテーマとした展示を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・展示生物：ダンゴウオ、コンペイトウ、ホテイウオ
アート作品展「ART OF REBORN」の開催	6月25日(土)～ 8月28日(日)	前年度に引き続き、作家による水生生物をテーマとした作品の展示を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・サンドアート：エントランスにおいて展示 ・廃材アート：館内において展示
特別展「世にも不思議なうみがたり～水の中の多様性(ダイバーシティ)～」	9月10日(土)～ 11月20日(日)	不思議な姿かたちをしている生物の生体及びパネル展示により、形態的な面から水生生物の多様性を紹介した。

の開催		・展示生物：アカグツ、ヒシガニ、アサヒガニなど
特別展「深層を深掘り！？日本海の深海」の開催	1月17日(火)～3月12日(日)	日本海の深海をテーマとして、深海の成り立ちや日本海固有水、生きものの進化について生体展示や解説パネルにより紹介するほか、期間中の毎日曜日には、飼育スタッフによるレクチャーを実施し、深海魚の特徴や加圧実験水槽を用いた深海の環境説明など、深海の魅力と不思議について情報発信した。 ・展示生物：ノロゲンゲ、トヤマエビ、クモダコ、ザラビクニンなど
特別展「生きものがかたる造形美～富田伊織 新世界『透明標本』より～」の開催	3月21日(火)～翌年度5月21日(日)	生物の透明標本をテーマとして、透明標本作家として著名な富田伊織氏の作品を展示するとともに、透明標本の作製方法や魅力などを解説パネルで紹介した。

(3) その他展示や活動の状況

事業内容	期 間	内 容
バンドウイルカのマンズリー遊具の作製	通年	バンドウイルカの飼育展示環境の更なる充実と動物福祉の向上を図るため、月替わりで行動目標を定めた遊具を作製、運用しており、当該月の運用結果を入館者に紹介するとともに、次月の遊具の作製にいかしている。
うみがたりカレッジ公開講座「特大ヒラメの給餌解説」の実施	4月3日(日)～通年 ※水、日曜日の実施	タッチングプールにおいて飼育展示している大型ヒラメへの給餌を通して、ヒラメの生態や摂餌について紹介する給餌解説を実施した。
直江津ショッピングセンターエルマールとの連携企画の実施	6月12日(日)	直江津ショッピングセンターエルマール開催の「直江津 夏のパンとスイーツ祭り」に合わせ、パンを連想させる水生生物「スカシカシパン」を展示した。
「年パス限定！うみがたり4周年前夜祭」の実施	6月25日(土)	開館4周年を迎えるに当たり、年間パスポート所持者の優待と入館促進を図るため、通常閉館後の時間帯に年間パスポート所持者を対象とした、ドルフィンパフォーマンスやレクチャーなどの特別プログラムを含めた夜間特別開館を実施した。
「マゼランペンギンクラフトフェスタ上越 2022」への参画	6月25日(土)・26日(日)	マゼランペンギンや水生生物をテーマとした全国各地の作家による手作りアート作品のマーケット「マゼランペンギンクラフトフェスタ上越 2022」に参画した。
日本海大水槽の給餌解説の実施	7月19日(火)～8月28日(日)	日本海大水槽において、入館者とコミュニケーションをとりながら給餌の様子を解説する「じよんのびおさかなタイム」を実施した。

新潟県警察本部交通部との連携企画の実施	7月23日(土)～ 8月31日(水)	新潟県警察本部交通部と連携し、交通安全広報啓発活動として、交通ルールやクイズの館内掲示、シロバイ貝(オオエッチュウバイ)の展示などを実施した。
令和4年生まれのマゼランペンギングループ名の募集、発表	募集:8月1日(月)～ 28日(日) 発表:9月17日(土)	水族博物館で誕生したマゼランペンギンに対する愛着を育むため、入館者を対象として令和4年生まれのマゼランペンギングループ名を募集し、応募総数1,049通の中から、グループ名を「すいぺんず」に決定し、発表した。
夜間特別開館「ソロ活推奨!大人のおひとりさま水族館」の実施	9月10日(土)、 12月24日(土)	コロナ禍における施設の安全性のPRと利用促進を図るため、通常閉館後の時間帯に一人での入館を条件として、ドルフィンパフォーマンスやレクチャーなど、特別プログラムを含めた夜間特別開館を実施した。
「貝社員とアッサリ挑戦!海の謎解き大作戦」の実施	9月18日(日)～ 10月31日(月)	海洋環境問題に関する「謎」を専用冊子と館内のヒントを基に解き明かしていく謎解きイベントを実施するとともに、イベントの最終ミッションとして海岸清掃活動への参加を促した。
ハロウィン企画の実施	9月23日(金)～ 10月31日(月)	館内装飾のほか、ハロウィンを題材とした楽曲を使用したドルフィンパフォーマンスやイワシ給餌イベント、夜間特別開館「うみがたりハロウィンナイト2022」を実施した。
うみがたりガーデン(アクアポニックス)の実施	9月23日(金)～ 11月25日(金)	SDGsに関する取組として、フィーディングプールの飼育水を利用してリーフレタスを水耕栽培(アクアポニックス)し、収穫したリーフレタスをタッチングプールの藻食性魚類の餌とする循環型の飼育展示を実施するとともに、その仕組みや給餌について解説を行った。
「いつものもしもCARAVAN」への参画	10月29日(土)・ 30日(日)	子どもから大人まで楽しく防災を学ぶことができる地域一体型のイベント「いつものもしもCARAVAN」に参画し、日頃の業務で使用しているロープワークの中から、防災にいかすことができるものの実演を行った。
「ガス水道フェア2022」への参画	10月29日(土)・ 30日(日)	「ガス水道フェア2022」において、活魚輸送車による魚類の出張展示を実施した。 展示魚種:アカメバル、ウスメバル、ウツボ、サビウツボ
「なおえつ鉄道まつり」への参画	11月3日(木)	「なおえつ鉄道まつり」において、活魚輸送車による魚類の出張展示を実施した。 展示魚種:アカメバル、ウスメバル、ウツボ、サビウツボ

「上越市教育コラボ 2022 学び愛フェスタ」への参画	11月14日(月)～ 21日(月)	教育イベント「上越市教育コラボ 2022 学び愛フェスタ」において、海洋ゴミ、アクアポニックスに関するパネル展示を実施した。
クリスマス企画の実施	11月26日(土)～ 12月25日(日)	うみがたり大水槽におけるサンタクロースの仮装をしたダイバーによる水中給餌やクリスマスの要素を取り入れた「Art of Dolphin」「舞鰐 Shinyllusion」などを実施した。
「さかなクン」が育てたイシガキフグの展示	11月30日(水)～ 12月25日(日)	魚類学者・タレント・イラストレーターとして著名な「さかなクン」が育てたイシガキフグ「ハイちゃん」を譲受け、催事ホールにおいて展示を実施した。
夜間特別開館「ソロ活推奨！大人のおひとりさま水族館～クリスマスは魚に夢中～」の実施	12月24日(土)	クリスマスイブに合わせ、ニーズの掘り起こしも視野に入れ、通常閉館後の時間帯に一人での入館を条件として、特別プログラムを含めた夜間特別開館を実施した。
クロヘリメジロの展示	12月25日(日)	上越沖で捕獲された全長250cmのクロヘリメジロ(死亡個体)の展示を実施した。
正月企画の実施	12月27日(火)～ 1月9日(月)	うみがたり大水槽における干支にちなんだ「兎」の衣装を着用したダイバーによる水中給餌や食文化の観点を織り込みサケの受精卵をイクラ丼に模した展示などを実施した。
バレンタイン、ホワイトデー企画の実施	1月28日(土)～ 3月14日(火)	うみがたり大水槽におけるハート型の餌かごを用いた給餌やバレンタイン・ホワイトデーの要素を取り入れた「Art of Dolphin」「舞鰐 Shinyllusion」などを実施した。
十日町「里山スノーリッチ*マーケット」への参画	3月5日(日)	越後妻有交流館キナーレで開催された「里山スノーリッチ*マーケット」において、活魚車による出張展示を実施した。 展示魚種：サクラダイ
上越消防署との連携企画の実施	3月25日(土)	上越消防署と連携し、春の火災予防運動の一環として、テッポウウオの火消し給餌や公式キャラクター「うみくん」の一日消防署長就任など、火災予防の啓発活動を実施した。
ハッピーモーニング 2023の実施	3月25日(土)・ 26日(日)	年間パスポート所持者への感謝と入館促進を図るため、開館前の時間帯に年間パスポート所持者を対象として、ドルフィンパフォーマンスやバックヤードの一部公開などの特別プログラムを含めた早朝特別開館を実施した。
観桜会サクラ企画の実施	3月25日(土)～ 翌年度4月12日(水)	「高田城址公園観桜会」に合わせ、観桜会水槽の設置や観桜会会場への活魚車の出張展示(4月1日(土)・8日(土))を実施した。 展示魚種：サクラダイ

2 教育普及事業

新型コロナウイルス感染症と社会経済活動の両立に向けた動きの進行に合わせ、休止していた教育プログラムを（感染症対策上、実施が困難なものを除く）再開することで、入館者の興味や学習ニーズに応えるとともに、教育普及を進めることができた。

(1) 教育プログラム（定期実施）

区 分	プログラム	件数	人数
社会教育プログラム(個人)	バックヤードツアー	510	3,347
	夜間学習会	—	—
	自由研究支援	0	0
	エコもつと Free	8	140
社会教育プログラム(団体)	バックヤードツアー	21	370
	リモートバックヤードツアー	1	60
	館内ガイドツアー	4	14
	レクチャー	2	21
学校団体向けプログラム	バックヤードツアー	28	554
	リモートバックヤードツアー (施設⇔屋台会館)	0	0
	リモートバックヤードツアー (施設⇔学校)	1	27
	館内ガイドツアー	1	14
	レクチャー	33	2,033
	職場体験	1	1
	職業インタビュー	1	1
	出張授業	8	333
	エコもつと	2	68

(2) その他のプログラム（不定期実施）

事業内容	期 間	
「うみがたりの自由研究」 の実施	7月16日(土)～ 8月28日(月)	水族博物館で実施している調査・研究について、パネル展示で紹介するとともに、入館者を対象として生物に対する質問を募集し、回答を掲示した。
「エコづくり」の実施	7月16日(土)・23 日(土)・30日(土) 8月6日(土)・20 日(土)・27日(土)	SDGsの観点から海のゴミについて解説するとともに、クレヨンやスタンプを使ってマイバックを作るワークショップを実施した。
「サケお引越しプログラ ム2022」の実施	10月22日(土)・ 23日(日)	水族博物館内で孵化・生育したサケの稚魚をうみがたり大水槽に放流する参加体験プログラムを実施した。
うみがたりカレッジ出張 講座「おかえりサーモン 2022 鮭遡上観察会」の実 施	11月12日(土)・ 19日(土)	桑取川漁業協同組合と連携し、サケの遡上について学習する参加体験型プログラムを実施した。

うみがたりカレッジ出張講座「いってらっサーモン 2022 サケの稚魚放流」の実施	3月26日(日)	サケの人工増殖について理解を促すために、桑取川において、水族博物館で孵化したサケの稚魚約300個体の放流体験を実施した。
--	----------	--

3 調査研究

(1) 調査研究

○ マゼランペンギンの繁殖に関する調査

前年度の結果を踏まえながら、近交係数の高いペア及び同性ペアの人為的解消による新たなペアの形成促進、産卵した2卵中1卵の他ペアへの托卵、ストレス低減のための産卵確認回数の減数などによる繁殖状況の変化を調査した。調査の結果、近交係数の高いペア及び同性ペアの解消により新たなペアが3組形成されたほか、巣立ちに至った個体数は前年に比べ10羽増加した。

○ 上越地方におけるサクラダングオウオの分布に関する調査

新潟県内での出現情報を踏まえ、5月3日から6月14日までの間、採集調査を6回実施した結果、新規調査場所において、サクラダングオウオが出現する時間のピークを把握するとともに、全17個体を採集した。近縁種のダングオウオの出現状況や孵化後の成長速度を踏まえ、11月下旬から産卵のために接岸する成熟個体の出現調査も実施したが、当該時期の個体発見はできなかった。

○ サクラダングオウオの長期飼育、繁殖に関する研究

採集したサクラダングオウオについて、適正飼育環境や餌料を探るとともに、水温調整や産卵床の設置による二次性徴促進を実施した結果、産卵、孵化に至った。孵化した仔魚については、継続的に飼育を行っている。

○ 上越市内におけるキタノアカヒレタビラの保全に関する調査

上越市内のキタノアカヒレタビラ生息水域において、生息環境調査(地形、水深、水温)、生息生物調査、二枚貝生息数調査、外来種駆除を実施した。調査の結果、生息環境上の問題や繁殖状況、キタノアカヒレタビラの繁殖に必要な二枚貝、外敵となる外来種の生息を確認するとともに、生息水域の管理の必要性が示唆された。

○ 鯨類の飼育環境に関する調査

上越市立水族博物館鯨類飼育環境検証委員会の検証結果を踏まえ、鯨類飼育展示プールの風速や気温、個体の血液性状や餌成分などのモニタリング及び分析を継続的に実施した。得られた結果については、鯨類の飼育環境の更なる向上を図るため、鯨類の飼育展示に反映させている。

(2) 外部機関等との共同研究

○ ペンギンの Aspergillus 症に関する微酸性電解水の効果に係る研究

○ 鯨類の Clostridium 感染症に対する微酸性電解水の効果に係る研究

○ ペンギンの AA アミロイド症の病理学的解析について

○ イルカ血漿中の mmicroRNA のバイオマーカーとしての有用性の検討

(3) 発表等実績

関係機関や関係団体の研究会等での発表を目指し、指定管理者(株式会社横浜八景島)のグループ園館(仙台うみの杜水族館、アクアパーク品川、横浜・八景島シーパラダイス)内での調査研究発表を実施した。

○ 第4回飼育研究会：令和4年10月7日（金）

- ・令和4年マゼランペンギンの繁殖について
- ・キタノアカヒレタビラ保全活動について

4 施設・設備の機能向上

展示解説の充実や飼育展示設備の機能向上に取り組み、施設の魅力や機能をより一層高めた。

○ 主な取組

項目	内容
内照式解説板増設	展示解説の充実により入館者の学習意欲に応えるとともに、学習効果の向上を図るため、昨年度に引き続き、内照式解説板の作製、設置を実施した。
マゼランペンギンミュージアムにおける土壌入替	マゼランペンギンミュージアムの排水性を改善し、飼育展示環境の向上を図るため、土壌の入れ替え及び排水柵の設置を実施した。

5 情報発信

施設の認知度向上やブランド化を図り入館促進に繋げるため、報道機関に向けた情報発信や SNS による情報発信を行うとともに、さまざまな媒体において、水族博物館の展示や企画が情報として取り扱われた。

(1) 情報発信

単位：件

区分	プレスリリース	情報誌	Twitter	Instagram	LINE	YouTube	Facebook	合計
4月	1	1	10	4	1	0	0	17
5月	3	1	40	2	1	0	0	47
6月	1	2	38	10	4	0	0	55
7月	1	0	25	3	2	1	0	32
8月	3	0	29	3	3	0	0	38
9月	4	1	26	7	1	0	1	40
10月	2	1	29	7	2	0	1	42
11月	3	1	21	9	1	0	0	35
12月	2	1	24	33	3	0	0	63
1月	2	0	28	24	2	0	0	56
2月	0	1	19	19	1	0	0	40
3月	3	1	18	8	3	0	0	33
合計	25	10	307	129	24	1	2	498

(2) 報道機関等取扱

単位：件

区分	テレビ	新聞	ラジオ	WEB	雑誌他	合計
4月	4	7	6	56	4	77
5月	6	7	4	29	0	46
6月	10	8	7	49	4	78
7月	7	6	5	48	3	69
8月	6	4	6	23	2	41
9月	4	15	6	144	1	170
10月	1	6	1	20	2	30
11月	3	11	1	95	4	114
12月	15	16	4	97	1	133
1月	6	10	0	91	0	107
2月	8	8	1	77	0	94
3月	15	16	1	93	4	129
合計	85	114	42	822	25	1,088

6 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応状況

新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立に向けた動きの進行に合わせ、必要な対策を継続しつつ、施設の利用に関する制限を緩和することで、入館者のニーズに応えた。

年月日	対 応	内 容
令和2年5月11日(月)～	タッチングプールの利用制限	タッチングプールの入水禁止を継続した。
令和3年1月1日(金)～	コロナ禍対応のプログラム実施	学校団体の要望を踏まえて開始したりリモートバックヤードツアーを継続した。
令和3年4月29日(木)～	館内滞留者数制限の継続	館内滞留者制限（上限1,200人）を継続した。
令和4年4月1日(金)～	教育プログラムの再開	休止していた教育プログラムのうち、感染症対策上問題のないものを再開した。
令和4年4月6日(水)～	イルカスタジアムの入場者数制限の緩和	ドルフィンパフォーマンス実施時の入場者数の上限を従前の270人/回から400人/回に変更した。
令和4年4月29日(金)～ 5月8日(日)、7月16日(土)～18日(月)、8月11日(木)～8月16日(火)	インターネットを活用した入館予約の実施	館内滞留者を制限する中、入館待ちや混乱を防ぐため、インターネットを活用した入館予約システムを運用した。
令和4年12月6日(火)～	イルカホールの入場者数制限の緩和	水中ドルフィンパフォーマンス実施時の入場者数の上限を従前の80人/回から100人/回に変更した。

7 入館者数

コロナ禍の影響により入館者数が減少していたが、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立に向けた動きが進む中、入館者数が大幅に回復した。

○ 月別入館者数

単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
有料	24,342	37,547	25,576	42,650	65,938	31,840	27,066	17,902	10,302	9,920	11,551	25,737
無料	177	175	312	1,389	828	533	481	271	232	122	246	826
合計	24,519	37,722	25,888	44,039	66,766	32,373	27,547	18,173	10,534	10,042	11,797	26,563

区分	合計
有料	330,371
無料	5,592
合計	335,963

繁忙期の入館者数

- ・ゴールデンウィーク期間（4月29日～5月5日）：23,826人
- ・お盆期間中（8月11日～8月16日）：24,837人
- ・年末年始（12月28日～1月3日）：4,795人

○ 年度別入館者数

単位：人

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
732,759	514,946	206,227	245,080	335,963	2,034,975

8 入館者動向（入館者アンケートによる）

(1) 男女別

単位：%

男性	女性	その他	合計
41.8	57.4	0.8	100.0

(2) 年齢層別

単位：%

10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
3.2	20.9	30.0	18.2	14.9	8.1	2.7	1.3	0.7	100.0

(3) 形態別

単位：%

家族	友人	カップル・夫婦	1人	その他	合計
53.6	14.2	20.1	11.7	0.4	100.0

(4) 交通手段別

単位：%

自動車	バス	電車	自転車・徒歩	その他	合計
83.6	0.7	11.5	2.2	2.0	100.0

(5) 居住地別

単位：％

上越	県内(上越以外)	長野	富山	その他	合計
15.6	28.7	24.2	6.9	24.6	100.0